

「冷やす」「温める」をコア技術に、積極的な産学官連携で、医療市場等へ展開

「冷やす」「温める」をコア技術とする化学製品メーカー。主力製品は防寒等の機能を有する作業用手袋、弁当やケーキの持ち帰り用から精肉、魚介類の配送用まで使われる保冷剤、スポーツ時のアイシングや発熱時の冷却用の保冷具と幅広い。医療機器製造業及び製造販売業許可を保有。2017年に医療機器ブランド「メディアン」を立ち上げ、医療関係の温熱・冷却剤の開発・販売に注力。2018年地域未来牽引企業に選定されている。

●所在地	三重県松阪市大町262番地1
●電話/FAX	0598-51-2361/0598-51-1143
●URL	http://www.miekagaku.co.jp/
●代表者	代表取締役社長 山川 大輔

●設立	1956年
●資本金	2,300万円
●従業員数	45人



外部資源を積極的に活用し、幅広い分野の課題解決に貢献

大学・支援機関・異業種企業等、外部資源を積極的に活用し、「自社に不足する技術・ノウハウの外部資源有効活用」や「現場ニーズを元にした開発」を実現。例えば、手袋に色見本をつけ、柿やミカン等の収穫適期をわかりやすくした作業用手袋「果実カラーチャート付き手袋」を、三重県中央農業改良普及センターと共同開発。収穫期を逃して廃棄する果実の減少や、出荷品の均一化に貢献。また、藤田医科大学病院の看護部ニーズから、体の患部にフィットする冷却剤「くるっとクール」を開発。同病院のスタッフによる試作品評価を繰り返し行い、既存の冷却剤では難しかった首や脇等への効率的・効果的な冷却を実現。



冷却剤「くるっとクール」

地域未来牽引企業同士で連携し、新製品を開発

岐阜県の樹脂加工メーカー（地域未来牽引企業）と連携し、冷却剤の硬くて痛い常識を覆す、お餅のような柔らかさ、手触りの良さを持つ、冷やしても引っぱ張って伸ばせる医療用冷却剤「ぶるCUREアイスパック」を開発。三重・岐阜両県知事から好評を得たことが、地元を含む数多くのメディアに掲載され、多くの引合いを得ている。



「ぶるCUREアイスパック」を知事報告

地元自治体との連携により、自社事業の価値を向上

松阪市、民間事業者2社、大手前大学（兵庫県）との産学官5者連携により、使い捨ての紙箱に比べて環境負荷低減につながるスイーツ持ち運び用容器「Sweets Box」（試作品）を開発。同社は、専用保冷剤の開発・提供で貢献。また、松阪市が2017年度に開始した「中小企業ハンズオン支援事業」の初代支援先に採択され（年度に1社のみ）、同支援事業を活用して、医療機器ブランド「medi-an（メディアン）」を立ちあげている。

